

密を顕彰する市民の取り組み



郷土の偉人前島密翁を 顕彰する会

副会長 伊藤 光夫さん

主な活動は、前島密の業績や足跡を調べ、密の人生そのものを調査研究することです。

市内に残された密に関する書物や手紙などを収集し記録するとともに、全国各地にある密の足跡を調査しています。調査した内容をもとに、市民の皆さんに密の功績などを伝えるため、年に一度講演会を開催しています。また、各地で密の顕彰に取り組んでいる皆さんと交流しており、毎年密の命日には、横須賀市の淨楽寺で行われている墓前祭に参加しています。

青年時代もさまざまなことに挑戦していた密のよう



淡沢栄一記念館の視察の様子

に自分から旅立ったり、何かをつかもうとしてやりぬく気概を、今の若い皆さんにも持ってもらいたいです。まずは「冒険」に出てみて欲しいです。



「前島密とふれあう」 ふれあいハガキの会

会長 新井 康祐さん

市内全ての小学校・特別支援学校の小学4～6年生の児童を対象に、家族やお世話になっている人に思いを伝える『前島密とふれあう』ふれあいハガキのコンクールを行っています。今年で20回目を迎えるこのコンクールは、「手書きだからこそ伝えられる思いがある」と、多くの人から喜ばれています。

前島密はたくさんの功績を残し、中でも、直江津と新潟を結ぶ北越鉄道の開通など、故郷である上越のためにもさまざまな取り組みを行いました。子どもたち



ふれあいハガキコンクールの表彰式

が将来上越を離れたとしても、故郷に思いをはせ、密のように「故郷のために何かしたい」と思ってもらえるきっかけになればうれしいです。



前島記念館

館長 利根川 文男さん

前島記念館は、下池部にあった密の生家跡に1931年（昭和6年）11月7日に建てられました。密の功績などを分かりやすく紹介しており、小・中学校の授業での利用をはじめ、幅広い世代に来館いただいています。

密の功績が現代社会に与えた影響はとても大きく、今の私たちの生活はその上に成り立っているとも言えます。理想の社会を築くため、人とのつながりを大事にした密の生き様や考え方に、より多くの市民の皆さんから触れてもらいたいです。

【前島記念館】

▶ところ

下池部1317-1

▶開館時間

午前9時～午後4時

▶休館日

月曜日（祝日・振替休日の場合は翌火曜日）、
年末年始（12月29日～1月3日）



上越地区郵便局長会

会長 本山 司さん

郵便制度の創始者である前島密の「人のために」という精神を受け継いで、郵便局員一人一人が日々の業務に取り組んだり、局長会のボランティア活動として高齢者世帯の雪ほりや老人福祉施設の清掃などを行ったりしています。

また、郵便局が中学生の職場体験を受け入れた際には、前島記念館を訪れ、さまざまな功績を残した上越市出身の偉人について改めて知ってもらう機会として、顕彰を行う各団体の皆さんと協力して活動を行っています。

局長会としても、「人のために」という考え方のもと、これからも地域貢献を行っていきたくすし、皆さんにも密のような考え方を大切にしてほしいと思います。



雪ほりボランティアの様子